

生涯学習サポーター養成コース

生涯学習サポーター養成コースは、これから地域のいろいろな分野でボランティアとして活動していただく方を養成するためのコースです。毎年テーマを決めて募集しています。このコースを修了すると生涯学習サポーターとして中央区に登録し、ボランティアとして活動していただくこととなります。これまでに、文化財サポーター（郷土天文館サポーター）や生涯学習コーディネーターが卒業し、まち案内や郷土天文館の展示ガイド、講座の企画など活動の場を広げています。

平成22年度からサポーター養成コースは、学習の成果を地域で早くいかしたい方のために、2年間で修了することができるように制度を改正しました。活動に必要な知識や技術だけでなく、ボランティアについての講座も必修とするように充実化を図っています。

生涯学習サポーター養成コース2年生 コース生の募集は終了しています

◆区民メディアリポーターになろう！

主 題 行政がカバーできない区民が求める地域情報を、区民自らが発信するボランティア養成講座です。2年目は、1年目と同様に写真にナレーションをつけた「デジタル・ストーリーテリング」の手法をつかって、身近な出来事や日ごろの想いを表現することを学んでいきます。

修了後はケーブルテレビと協働で、番組作りに企画から参加し、合評会なども自律的に開催し、区民メディアリポーターとして活動することを目指します。授業はメディア論の水越講師と、水越研究室の大学院生たちがファシリテーターとして参加します。

時 間：【水曜】午後6時30分
～8時30分
【土曜】午後1時～5時
場 所：築地社会教育会館ほか
※第9回(11/16)は中央区役所
回 数：5回

企画・協力：水越研究室

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第6回	9/18(水)	【講義】あいさつ 後期のスケジュールと活動の概要 ミニコンテ企画・編集（夏休み宿題より）	水越 伸 東京ベイネット
第7回	9/25(水)	ミニコンテ合評 【講義】<未定> 企画	
第8回	10/19(土)	企画・編集	
第9回	11/16(土)	制作	
第10回	12/ 7(土)	合評会 ※講座の総括と来年度からの活動について	

講 師 紹 介

水越 伸 (みずこし しん)

東京大学大学院情報学環教授。1963年桑名生まれ、金沢育ち。専門はメディア論。市民のメディア表現、メディアリテラシーの実践的研究に取り組む。園芸とバイクをこよなく愛す。主著に『メディア・ピオトープ：メディアの生態系をデザインする』『21世紀メディア論』など。

◆よみきかせボランティア養成講座

主 題 実際に地域で子どもの読書活動を支援する「よみきかせボランティア」の養成講座です。

講座では、絵本のおよみきかせはもちろん、紙芝居・手あそび・唄あそび等を学んで、2年間の講座修了後はおはなし会を創る活動につなげます。子どもと本との出会いや地域と図書館をつなぐ活動に興味のある方、一緒に絵本やおよみきかせについて学びませんか？

興味は持っていても、なかなか一歩を踏み出せないはじめての方大歓迎です。読み手それぞれの良さ、個性を大切に「よみきかせ」を目指します。

時 間：午前10時～正午

※第11回は時間未定

場 所：日本橋社会教育会館ほか

※第8回は日本橋図書館

回 数：8回（他に実習あり）

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名	ゲ ス ト 名
第4回	9/ 4 (水)	絵本の感じ方・味わい方	後路 好章	岡田 達信
第5回	9/18 (水)	むかし語りを聞く		
第6回	10/ 2 (水)	絵本作りの舞台裏		井上 みほ子
第7回	10/16 (水)	自然科学の絵本		
第8回	11/ 6 (水)	世界に広がる紙芝居		酒井 京子
第9回	11/20 (水)	ブックトーク		
第10回	12/ 4 (水)	詩のはなしをしましょう		田中 和雄
第11回	12/14 (土)	講座の総まとめ おはなし会		

講 師 紹 介

後路 好章 (うしろ よしあき)

元アリス館編集長。白鷗大学・星美学園短期大学・明星大学非常勤講師を歴任。国語教科書編集委員（三省堂）。赤ちゃん絵本研究会代表。日本赤ちゃん学会会員。著書に『絵本から擬音語擬態語ぷちぷちぼーん』『もうわらった』『だあれだ だれだ?』『おじいちゃんと日の出を見たよ』他多数。

ゲ ス ト 講 師 紹 介

岡田 達信 (おかだ たつおぶ)

絵本セラピスト協会代表、日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー、一級建築士。子どもへの読み聞かせをきっかけに集めていた絵本と、心理学や自己啓発などの共通点を発見。独自のプログラムとして確立した「絵本セラピー」は5年で約4000人が受講。新聞などでも取り上げられている。著書『絵本はこころの処方箋』

井上 みほ子 (いのうえ みほこ)

(株)瑞雲舎(東京都港区『ちびくろ・さんぼ』『シナの五にんきょうだい』などの復刊絵本や、『としょかんねずみ』『てのひらどうぶつえん』『泥かぶら』などの絵本を発行している児童書専門の出版社)代表取締役。北海道生まれ。読み聞かせボランティア、絵本講座講師として活動中。JPIC読書アドバイザー。“赤ちゃん絵本研究会”会員。

酒井 京子 (さかい きょうこ)

童心社取締役会長。千葉県生まれ。絵本と紙芝居の編集に携わり、ロングセラー『おいしいのぼうけん』、「14ひきのシリーズ」、『びゅんびゅんごまがまわったら』などの作品を担当。童心社編集長、代表取締役社長を経て現職。2001年「紙芝居文化の会」を創立。オランダ・フランス・ドイツ・ベトナムなどでも紙芝居の普及に力を注ぐ。共著に『紙芝居を演じる』（図書館流通センター）

田中 和雄 (たなか かずお)

童話屋編集者。東京本郷生まれ。1977年童話屋書店を青山に開店。安野光雅絵本『魔法使いのABC』、『葉っぱのフレディ』の他、『のはらうた』、『ポケット詩集』など200点の絵本、詩集を出版。NHKラジオ深夜便「こころの時代」、NHKカルチャーラジオ講座「誌のトビラ ひらけごま!」等に出演。